

平成 24 年度版

中学校英語科用

NEW HORIZON English Course

Book2

指導計画作成資料

○この資料の内容は、平成 23 年 9 月時点での案となっております。今後、変更がある可能性がありますので、ご了承ください。

(平成 23 年 9 月)

東京書籍

「指導計画作成資料」について

この資料は、平成 24 年度版 NEW HORIZON を使って指導する際の、年間指導計画作成のための参考資料です。学年ごとに、表形式にまとめられています。

Book 1	15 ページ	Book 2	15 ページ	Book 3	14 ページ
--------	--------	--------	--------	--------	--------

表は、以下の項目からなっています。

月	指導する月の目安を示します。						
単元	単元の通し名（例：Unit 1, Speaking Plus 3 など）を示します。						
ページ	その単元の、教科書上のページを示します。						
タイトル／題材・内容	その単元のタイトルのほか、以下を示します。 題材・内容 単元で扱う題材・内容の概略を示します。 設定理由 Unit 及び Let's Read について、その題材を扱うことにした理由を示します。						
時数[単元／パート]	その単元の指導時数の目安を示します。Unit については、パートごとの時数も示しています。 [指導時数について] 指導時数の学年ごとの合計は、以下のようになっています。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>Book 1</td> <td>82</td> <td>Book 2</td> <td>91</td> <td>Book 3</td> <td>87</td> </tr> </table> このように、週 4 時間（年間 140 時間）の 60～70%の時数で余裕をもって扱うことができるようになっています。残りの時数の指導内容は、各学校や先生方の指導計画に任せられます。教科書の指導内容の補充や深化のための時間を、その指導計画に組み入れる場合は、後述「指導時間に関する備考」の、 補充 深化 の表記を 1 つの目安にしてください。この表記のある単元は、プラス 1 時間するなどの指導がしやすい内容になっています。	Book 1	82	Book 2	91	Book 3	87
Book 1	82	Book 2	91	Book 3	87		
パート名	Unit のパート名を示します。						
到達目標	その単元／パートにおいて、言語技能及び題材内容について、生徒が何をできるようになることを目指しているか、という最重要の到達目標を示します。						
学習内容	その単元／パートで扱う主な学習内容を、文法事項と言語活動の両面から示します。 ◇文法事項・基本表現 Unit の各パートの新出文法事項と、Speaking Plus の新出基本表現を示します。また、直前に学習した文法事項が本文中で復習的に現れる場合などは、 復習 として示します。						

<p>◇主な言語活動</p> <p>取り扱う主な言語活動を、以下の 4 つの点から示します。</p> <p>中心技能 4 技能（聞く、話す、読む、書く）のうち、重点を置くもの</p> <p>使用場面 本文の使用場面</p> <p>話題、テーマ 特に中心となっている話題、読み物教材のテーマ</p> <p>働き 特に中心となっている言語の働き</p> <p>工夫 コミュニケーションに役立つ工夫やコツ</p>
<p>指導の典型的手順</p> <p>その単元／パートを指導する場合の最も典型的で基本的な手順例を示します。実際の指導手順がこれと必ずしも一致する必要はありません。（なお、「新出語句の導入」については、「本文の内容理解」の前後に扱われるのが通例と思われるので、記載を省略しています。）</p> <p>◇[観点別評価分類]</p> <p>上記手順上の各項目が、評価の観点のうち、どれにあてはまるかを示します。授業中の活動の観察や提出物の評価、定期テストなどにおいて、特定の項目を焦点化することにより、観点別評価が可能です。</p> <p>[意欲] コミュニケーションへの関心・意欲・態度</p> <p>[表現] 外国語表現の能力</p> <p>[理解] 外国語理解の能力</p> <p>[言語文化] 言語や文化についての知識・理解</p>
<p>指導に関する備考</p> <p>指導時数や時間配分上のバリエーション、指導内容に関する留意事項を示します。</p> <p>補充 基礎・基本の定着を図るための繰り返し学習や、言語を実際に使用する活動、題材への興味・関心を喚起する活動にさらに 1 時間あてるなど、指導の重点化を図ることができる単元／パートを示唆しています。</p> <p>深化 既習の知識・技能を活用し、自分の考え、感想、気持ち、賛否の理由などについて英語で書いたり、発表したりする活動にさらに 1 時間あてるなど、言語活動の充実を図ることができる単元／パートを示唆しています。</p> <p>継続 毎時冒頭に数人ずつ発表させるなど、継続的な取り組みに適した内容を含む単元／パートを示しています。[主として Warm-up, Unit, Multi Plus, 学び方コーナー]</p> <p>言語 基本文以外の指導に留意すべき表現（マイナーターゲット）や重要事項の取り扱いなどについて記述しています。</p> <p>その他、時間配分上の注意点や指導上の留意点などの項目は*で適宜示しています。また、Sound Box, Tool Box などのコラムや囲みの取り扱いに関する内容もここに含み、これらについては学年最初の該当パートで示します。</p>

指導計画作成資料 (Book2)

月	単元	ページ	タイトル／題材・内容	時数		パート名	到達目標	学習内容	文法事項・基本表現	指導の典型的手順[観点評価分類]	指導に関する備考
				単元	パート				主な言語活動		
4	Warm-up	pp.2-3	A Speech and a Game 題材・内容 Show and Tell と What Am I?を取り上げる。 設定理由 日々の授業の“warm-up”として継続指導が可能な活動を, 学年の冒頭で取り上げることにした。	2	1	Show and Tell	○自分の大切にしているものを使い Show and Tell のスピーチをすることができる。	中心技能 4 技能すべて 使用場面 スピーチ 話題, テーマ わたしの宝物 働き 発表する, 説明する 描写する	①本文 (スピーチ) の内容理解 [理解] ②本文の音読 [表現] ③Your Turn [表現] ●特に③への取り組み [意欲]	*Warm-up は, スピーチやゲームによる「ウォームアップ効果」をねらうとともに, 1年の既習事項の復習も兼ねることを念頭に置いて指導したい。例えば, Show and Tell の本文中の不規則動詞の過去形に焦点をあて, 「応用編」pp.122-123「不規則動詞変化表」も活用しながら復習させ, 以後の学習でも不規則動詞の変化について留意させるように指導する, などである。 継続 Your Turn については, 毎回の冒頭で数人ずつ発表させる方法も可能である。発表者以外の生徒には事前に聞き取りのポイントを与えておくことよい。 言語 付加疑問文 (... , aren't you?) の形, 意味, 用法についてふれる。 *Tool Box には, 表現活動で用いる練習用の補充語彙・表現が提示されている。表現活動に入る前に口頭練習を行うことよい。 *What Am I?の指導時間配分を短くし, Show and Tell のスピーチ原稿の作成指導にあてるなど, 生徒の実態に応じて 2 時間の指導時間を柔軟に扱ってもよい。	
				2	1	What am I?	○本文のゲームの対話の流れを理解することができる。 ○出題者として適切なヒントを出したり, 回答者として適切な質問をしたりできる。	中心技能 4 技能すべて 使用場面 ゲーム・クイズ 働き 質問する, 答える 説明する, 描写することばをつなぐ 工夫	①本文 (ゲーム) の内容理解 [理解] ②本文の音読・ロールプレイ [表現] ③Your Turn [表現] ●特に③への取り組み [意欲]		
		5	1	Starting Out	○be 動詞の過去形の形・意味・用法を理解し, 表現できる。	be 動詞の過去形 中心技能 4 技能すべて 使用場面 先生の説明 話題, テーマ 盲導犬 PR 犬 働き 説明する	①本文 (説明) の内容理解 [理解] ②基本文 [理解・表現] ③本文の音読 [表現] 本文の暗唱 [表現] ④Listen [理解] ⑤Speak [表現]	言語 be proud of は主語と目的語をかえて表現として練習する。			
	Unit 1	pp.4-8	Dogs with Jobs 題材・内容 緑中学校で盲導犬の体験教室が開催される。盲導犬を引退して PR 犬になったジェニーの説明 (Starting Out), 打ち合わせに遅れてきたケビンとさくらの対話 (Dialog), 盲導犬体験教室のお知らせとその感想文 (Reading for Communication), と展開する。	5	1	Dialog	○過去進行形の形・意味・用法を理解し, それを用いて簡単な対話ができる。	be 動詞の過去形 中心技能 4 技能すべて 使用場面 学校内で 働き 苦情を言う 質問する, 答える	①本文 (対話) の内容理解 [理解] ②基本文 [理解・表現] ③本文の音読・ロールプレイ [表現] 本文の暗唱 [表現] ④Your Turn [理解・表現] ●特に④への取り組み [意欲]	補充 Your Turn の例を参考にし, 聞くこと・話すことに重点化した活動に, さらに 1 単位時間をあて, 既習事項の定着を図ることも可能である。	

月	単元	ページ	タイトル／題材・内容	時数		パート名	到達目標	学習内容	文法事項・基本表現	指導の典型的手順[観点評価分類]	指導に関する備考
				単元	パート			主な言語活動			
4	Unit 1	pp. 4-8	設定理由 盲導犬について、英語を通して関心を持たせ理解を深めたい。盲導犬が厳しい訓練を経て仕事ができるようになっていること、街で盲導犬を見かけた時のマナー、盲導犬としての役割を終えてからジェニーのように PR 犬として活躍する犬がいること、盲導犬の数が決して十分ではないことなど、派生して学ぶべきことも多い。	1	Reading for Communication	○PR 犬とは何かについて知る。 ○盲導犬体験教室のお知らせを読んで、内容を理解できる。	復習 be 動詞の過去形 中心技能 4 技能すべて 使用場面 掲示物 話題, テーマ 盲導犬体験教室の開催告示 働き 紹介する, 説明する	① 本文 (お知らせ) の内容理解 (Q&A) [理解] ② 本文の音読 [表現]	*Q&A は、次時の冒頭、本文の復習の中で扱ってもよい。その場合は閉本で行うなど、生徒の実態に応じた指導を行う。		
						○体験教室に参加した生徒たちの感想文を読んで内容を理解できる。 ○「look+形容詞」の形・意味・用法を理解し、表現できる。	動詞 (look) + 形容詞 復習 be 動詞の過去形, 過去進行形 中心技能 4 技能すべて 使用場面 感想 話題, テーマ 盲導犬体験教室 働き 説明する, 感想を述べる	① 本文 (感想文) の内容理解 (Q&A) [理解] ② 本文の音読 [表現]		言語 never と not の文中での使い方の違いを対比・明示する。	
						○過去進行形を使い、相手が昨日したことをたずねたり、答えたりする対話ができる。(A) ○メモをもとに英語のお知らせの文を完成することができる。(B)	A 中心技能 読む, 話す 使用場面 盲導犬の DVD 働き 質問する, 答える B 中心技能 読む, 書く 話題, テーマ DVD 上映のお知らせ	A ① 適語選択 [言語文化] ② ロールプレイ [表現] B ① 適語補充 [理解・表現] ② 完成したお知らせの音読 [表現]		継続 A の対話をペアで練習させた後に発表させてもよい。	
	Listening Plus 1	p. 9	テレビ広告 題材・内容 盲導犬についてのキャンペーン広告を聞き取る。	1		○テレビ広告の音声を聞いて、広告の内容やメッセージを聞き取ることができる。	復習 be 動詞の過去形 中心技能 聞く, 書く 使用場面 テレビ広告 話題, テーマ 盲導犬キャンペーン 働き 紹介する, 説明する	① キャンペーン広告の概要の聞き取り (Step 1) [理解] ② キャンペーン広告の要点の聞き取り (Step 2) [理解] ③ キャンペーン広告の内容に関する質問への応答 (Step 3) [理解・表現] ④ Sound Box による発音練習 [言語文化] ● 特に③への取り組み [意欲]	継続 Sound Box は、次時以降も同様の例が出てきたときにふり返るなど、継続的な指導を心がけたい。		
	Writing Plus 1	pp. 10-11	日記 題材・内容 時間の流れに沿って書かれた日記と特定の話題に絞って書かれた日記を読み、文章の構成法を知る。また自分でも日記を書く。	2		○日記を書くときの文章構成を知り、日記を 4 文以上の英語で書くことができる。	復習 動詞の過去形, 過去進行形 中心技能 書く, 読む 使用場面 日記 工夫 自分のしたこと, 思ったことを文章で伝える	① モデルの内容理解 (Step 1) [理解] ② モデルにならって書く (Step 2) [表現] ③ 自分で日記を書く (Step 3) [表現] ● 特に③への取り組み [意欲]	言語 go ...ing (go shopping, go fishing, go swimming など) を練習させる。 *Step 1~2, 可能なら Step 3 の書き出しまでを 1 時間目で扱い、書いた内容の確認や推敲などを 2 時間目に扱うようにするとよい。		

月	単元	ページ	タイトル／題材・内容	時数		ページ名	到達目標	学習内容		文法事項・基本表現 ----- 主な言語活動	指導の典型的手順[観点評価分類]	指導に関する備考
				単元	パート			学習内容	文法事項・基本表現			
5	Unit 2	pp. 12-16	A Trip to New Zealand 題材・内容 一郎がゴールデンウィークにニュージーランドを訪れる。ゴールデンウィークの予定の対話 (S0), 一郎の空港での入国審査の対話 (D), ニュージーランドのエグモント山とキーウィの紹介 (RC), と展開する。 設定理由 富士山に形がよく似たエグモント山, キーウィフルーツの語源になったキーウィなど, 生徒の興味を引く題材でニュージーランドを紹介する。生徒が郷土の名所などを英語で紹介するモデルとしても有用である。	5	1	Starting Out	○be going to の文の形・意味・用法を理解し, 表現できる。	be going to	中心技能 4 技能すべて 話題, テーマ ゴールデンウィークの予定 働き 質問する, 答える 相づちをうつ	① 本文 (対話) の内容理解 [理解] ② 基本文 [理解・表現] ③ 本文の音読・ロールプレイ [表現] 本文の暗唱 [表現] ④ Listen [理解] ⑤ Speak [表現]	言語 未来を表す表現で, 共に用いられることが多い語句 (tomorrow, next... など) をまとめて示すとよい。	
					1	Dialog	○SV00 の文の形・意味・用法を理解し, それを用いて簡単な対話ができる。 ○入国審査の場面での問答ができる。	SV00	中心技能 4 技能すべて 使用場面 入国審査 働き 依頼する, 質問する, 答える	① 本文 (対話) の内容理解 [理解] ② 基本文 [理解・表現] ③ 本文の音読・ロールプレイ [表現] 本文の暗唱 [表現] ④ Your Turn [表現] ● 特に ④ への取り組み [意欲]	補充 SV00, SVOC (C=名詞) の形, 意味, 用法に習熟させるために, 語順の理解 (並べかえ), 代入練習, 適語補充などに 1 単位時間をあててもよい。	
					1	Reading for Communication	○エグモント山について基本的情報を知る。 ○ニュージーランドの名所を紹介するナレーションを読んで, 内容を理解できる。 ○SVOC の文の形・意味・用法を理解し, 表現できる。	SVOC (C=名詞)	中心技能 4 技能すべて 使用場面 観光地で 話題, テーマ 名所 働き 紹介する 説明する, 描写する	① 本文 (ナレーション) の内容理解 (Q&A) [理解] エグモント山の基本情報の理解 [言語文化] ② 基本文 [理解・表現] ③ 本文の音読 [表現]		
					1	Reading for Communication	○キーウィについて基本的情報を知る。 ○キーウィについての説明を読んで, 内容を理解できる。	復習 be going to	中心技能 4 技能すべて 使用場面 動物園で 話題, テーマ 絶滅危惧種(自然環境) 働き 説明する	① 本文 (説明文) の内容理解 (Q&A) [理解] キーウィについての基本情報の理解 [言語文化] ② 本文の音読 [表現]		
					1	Review	○家族の呼び方を紹介し, 一言加えて言うことができる。(A) ○指定された情報を盛り込んで日本の名所を紹介することができる。(B)	A 中心技能 読む, 書く, 話す 使用場面 家族紹介 話題, テーマ 家族 働き 紹介する B 中心技能 読む, 書く, 話す 使用場面 説明文 話題, テーマ 日本の名所 働き 説明する, 描写する	A ① 適語補充 [言語文化] ② 完成した文の音読 [表現] B ① 紹介文の作成 [表現] ② 紹介文の音読・発表 [表現]			

月	単元	ページ	タイトル／題材・内容	時数		パート名	到達目標	学習内容	文法事項・基本表現	指導の典型的手順[観点評価分類]	指導に関する備考
				単元	パート				主な言語活動		
5	Listening Plus 2	p. 17	海外旅行 題材・内容 飛行機の搭乗案内、機内での座席のトラブル、機内放送などを、実際の場面を連想しながら正しく聞き取る。	1			○飛行機の搭乗案内や機内放送などを聞いて、具体的な内容や大切な情報を正確に聞き取ることができる。	復習 SV00, be going to 中心技能 聞く, 書く 使用場面 搭乗案内, 機内放送対話 働き 案内する	① 搭乗案内の聞き取り (Step 1) [理解] ② 機内での対話の聞き取り (Step 2) [理解] ③ 機内放送の内容に関する質問への応答 (Step 3) [理解] ④ Sound Box による発音練習 [言語文化] ● 特に ③ への取り組み [意欲]		
			先生にお願い 題材・内容 目上の人に対して、「ていねいに許可を求める、依頼する」ための表現を学ぶ。(Book 1 SP 3 では、すでに家族や友達などに許可を求めたり、依頼したりするときの表現を学習している)	2		○先生など目上の人に対して、ていねいに許可を求めたり、依頼したりすることができる。 ○英語にも、場面や相手に応じて、ていねい度のちがう表現があることに気づき、許可や依頼の表現の中から、適切に使いわげができる。	May I ...? / Could you ...? 復習 SV00 中心技能 話す, 聞く, 書く 使用場面 職員室で 働き 丁寧に許可を求める, 丁寧に依頼する, 応える	① 場面の理解とモデル対話の確認 [理解] ② 基本表現 (Step 1) [理解・表現] ③ モデル対話の音読・ロールプレイ (Step 2) [表現] ④ モデル対話の暗唱 (Step 2) [表現] ⑤ モデル対話の応用 (Step 3) [表現] ⑥ 基本表現などの確認 (書き取り) [理解・言語文化] ● 特に ⑤ への取り組み [意欲]	言語 May I ask you a favor?は依頼を切り出す表現として練習させ、定着させたい。 *Step 3 は、発表に時間があまりとれない場合は、複数のペアによるグループで、時間があればクラス全体で発表会を行うようにするとよい。 *基本表現などの書き取りは、音声として練習してきた表現を正確に定着させることがねらいである。生徒の実態に応じて、適語補充や表現の一部を書き取らせるなど、形式を工夫して扱う。必要に応じて単語を書く練習などを行ってもよい。		
6	まよ\$や練習1	p. 20	be 動詞のいろいろな働き 題材・内容 be 動詞の過去形の文と be going to の文の形と意味を総復習する。	1			○be 動詞の過去形について復習し、理解を確かめる。 ○「be going to+動詞の原形」の文について復習し、理解を確かめる。	復習 be 動詞の過去形 be going to 中心技能 書く	① 「確かめよう」による確認 [言語文化] ② 「やってみよう」による練習 [言語文化]	補充 「やってみよう」と類似した問題を作成して取り組ませる。生徒の負担を少なくするため、教科書の本文を参考に問題を作成するとよい。	
			辞書の使い方 題材・内容 英和辞典を利用して見出し語を速く見つけるコツを知り、クロスワードパズルに取り組みながら辞書を使う楽しさを学ぶ。	1		○英和辞典の見出し語配列の約束事や品詞の表記などを学び、辞書を有効活用することができる。	中心技能 読む, 書く	① 辞書の見出し語の探し方の理解 [言語文化] ② クロスワードパズルの完成 [言語文化] ● 特に ② への取り組み [意欲]	補充 動詞と名詞など2通りの意味を持つ既習の語を取り上げて、品詞と意味を問う課題に取り組ませる。 (例) Is this your first <u>visit</u> to Japan? I often <u>visit</u> John in the hospital. 継続 辞書指導は、本時だけでなく、時間をかけて段階的な指導を行い、生徒に辞書の有用性を理解させたい。		

月	単元	ページ	タイトル／題材・内容	時数		ページ名	到達目標	学習内容	文法事項・基本表現	指導の典型的手順[観点評価分類]	指導に関する備考
				単元	パート			主な言語活動			
6	Unit 3	pp. 22-26	My Future Job 題材・内容 英語と職業との関わりという主題のもとで、英語部に入った理由のアンケート結果(S0)、将来の夢についての対話(D)、ウェブページ上での英語と職業についての意見交換(RC)、と続く。 設定理由 中学2年生は、自分の将来の職業や英語学習の目的など、自分自身について長期的視野に立って考える時期でもある。本単元はその契機としたい。	5	1	Starting Out	○不定詞（目的を表す副詞的用法）の形・意味・用法を理解し、表現できる。	不定詞（目的を表す副詞的用法） 中心技能 4技能すべて 使用場面 アンケート結果を見て英語部入部の理由を質問する、答える 話題、テーマ 働き	①本文（アンケート結果）の内容理解 [理解] ②基本文 [理解・表現] ③本文の音読 本文の暗唱 [表現] ④Listen [理解] ⑤Speak [表現]	深化 本文のアンケートで Other にあたる理由を5つまで書かせて発表させる。 言語 make friends with で friends が複数形になっていることに注意させる。	
				1	Dialog	○不定詞（名詞的用法）の形・意味・用法を理解し、それをを用いて簡単な対話ができる。	不定詞（名詞的用法） 中心技能 4技能すべて 使用場面 学校で将来の職業を説明する、質問する、答える 話題、テーマ 働き	①本文（対話）の内容理解 [理解] ②基本文 [理解・表現] ③本文の音読・ロールプレイ 本文の暗唱 [表現] ④Your Turn [表現] ●特に④への取り組み [意欲]			
				1	Reading for Communication	○将来の職業と英語学習について意見を述べた文章を読んで内容を理解することができる。 ○不定詞（形容詞的用法）の形・意味・用法を理解し、表現できる。	不定詞（形容詞的用法） 復習 不定詞（名詞的用法） 中心技能 4技能すべて 使用場面 ウェブページで英語学習自己紹介する、質問する、説明する 話題、テーマ 働き	①本文（意見）の内容理解 (Q&A) [理解] ②基本文 [理解・表現] ③本文の音読 本文の暗唱 [表現]			
				1	Reading for Communication	○将来の職業と英語学習について意見を述べた文章を読んで内容を理解することができる。 ○これまで学習した不定詞の形・意味、文中での用法を判別し、正しく理解することができる。	復習 不定詞（副詞・形容詞的用法） 中心技能 4技能すべて 使用場面 ウェブページで英語学習自己紹介する、説明する 話題、テーマ 働き	①本文（意見）の内容理解 (Q&A) [理解] ②本文の音読 [表現]			
				1	Review	○行きたい国と、そこでしてみたいことについて対話ができる。(A) ○ウェブページの自己紹介文を完成し、発表できる。(B)	① 中心技能 読む、書く、話す 使用場面 対話 行きたい国としたい事を質問する、答える 働き ② 中心技能 書く、話す 使用場面 ウェブページ 自己紹介 自己紹介する、説明する 話題、テーマ 働き	①対話の作成 [理解] ②ロールプレイ [表現] ③ ①自己紹介文の作成 [表現] ②自己紹介文の発表 [表現]			

月	単元	ページ	タイトル／題材・内容	時数		パート名	到達目標	学習内容	文法事項・基本表現	指導の典型的手順[観点評価分類]	指導に関する備考
				単元	パート				主な言語活動		
6	Listening Plus 3	p. 27	家事アンケート 【題材・内容】各国の中学生の家事アンケートの結果について発表を聞き、大切な情報を聞き取る。	1			○表やグラフを見ながら発表を聞いて、事実や大切な数字を正しく聞き取ることができる。	【復習】不定詞 【中心技能】聞く、書く 【使用場面】授業内での発表 【話題、テーマ】家事手伝いの国際比較 【働き】発表する	①アンケート結果の聞き取り (Step 1) [理解] ②発表の聞き取り (Step 2) [理解] ③発表の内容に関する質問への応答 (Step 3) [理解・表現] ④Sound Boxによる発音練習 [言語文化] ●特に③への取り組み [意欲]		
	Writing Plus 2	pp. 28-29	メール 【題材・内容】個人的なメールのやりとりを学ぶ。特にメール特有の文形式や有用表現、略号、絵文字などを学ぶ。	2			○日常生活でのちょっとしたことについて、友達にメールを4文以上の英語で書くことができる。	【中心技能】書く、読む 【使用場面】メール 【話題、テーマ】健康状態 【働き】質問する、答える、礼を言う	①モデルの内容理解 (Step 1) [理解] ②返信のメールを完成 (Step 2) [表現] ③自分でメールを書く (Step 3) [表現] ●特に③への取り組み [意欲]	*Step 1～2, 可能であればStep 3の書き出しまでを1時間目で扱い、書いた内容の確認や推敲などを2時間目に扱うようにするとよい。	
7	Multi Plus 1	pp. 30-33	夏休み 【題材・内容】「夏休み」についての4技能統合の自己表現活動。Challengeでは、タイの夏休みについての英語を読み、世界の夏休みや祭りに視野を広げる。	4			○モデル文を参考にして、自分の夏休みについて紹介する原稿を4文以上の英語で書くことができる。 ○書いた原稿をもとに、夏休みについてのスピーチをすることができる。 ○友達のスピーチを聞き、その内容について質問することができる。 ○タイの夏休みや、夏祭りについて読み、理解することができる。 ○外国の祭りについて調べて、発表することができる。	【復習】1年Unit 10～11, 2年Unit 1～3の総復習 【中心技能】4技能すべて 【使用場面】説明文 【話題、テーマ】夏休み、祭り 【働き】紹介する、発表する、感想を述べる、質問する、答える	①活動目標の理解 (目標) [理解] ②既習事項の復習 (復習) [理解] ③モデルの内容理解 (Hop) [理解] ④表の完成 (Stepの1) [表現] ⑤夏休みの記録を書く (Stepの2) [表現] ⑥夏休みの記録の発表と質疑応答 (Jump) [理解・表現] ⑦本文の内容理解 (Challenge) [理解] ⑧外国の祭りについて調べて発表する (Challenge) [理解・表現] ●特に⑥⑧への取り組み [意欲]	【補充】Stepの原稿作成に1指導時間をあて、全体を5指導時間として、「書くこと」の指導の重点化を図ることも可能である。 【継続】Jumpは、毎時間冒頭に数人ずつ発表させる、という方法でもよい。 【継続】ChallengeのLet's Try 2については、課題として扱い、書くことや話すこと(スピーチ)の活動を継続的に行うことも可能である。	
9	Let's Read 1	pp. 34-38	A Magic Box 【題材・内容】ある夫婦がおばあさんからもらった箱は、3つの願いをかなえる「魔法の箱」だった。最後の願いを何にするか。3人の大臣が知恵をしぼる。 【設定理由】2年で最初の読物教材である。対話劇形式で書かれた物語を読み、その展開・内容を正しく読み取らせる。本文最後の台詞を生徒に考えさせることにより物語の登場人物と一体感・臨場感を持たせたい。	4	4		○物語を読んで、場面展開を読み取ることができる。	【復習】既習事項の総復習 【中心技能】読む 【使用場面】物語 【話題、テーマ】3つの願い事	①本文(物語)のあらすじの理解 [理解] ②各ページの本文の内容理解 [理解] ③本文の音読・ロールプレイ [表現] ④本文の暗唱 [表現] ●特に④への取り組み [意欲]	*物語全体の通読(1時間目)と各ページの精読(2時間目以降)、Reviewを活用した2ページごとの通読、各ページの精読のみの4時間扱いなど、生徒の実態によって指導計画を柔軟に考えたい。 【深化】本文の内容を十分理解したうえでの気持ちよこめた音読・暗唱やReview ©の活動に1時間を充ち、表現活動の深化を図ってもよい。 【言語】call to ... と p.14の基本文「call +O+C」との語順と意味のちがいに気づかせたい。 【言語】Well, well! は副詞ではなく、間投詞であることに気づかせたい。ただし、間投詞という名称は教えなくてもよい。	

月	単元	ページ	タイトル／題材・内容	時数		パート名	到達目標	学習内容	文法事項・基本表現	指導の典型的手順[観点評価分類]	指導に関する備考
				単元	パート				主な言語活動		
9	Let's Read 1	pp. 34-38	さらにそれを対話劇や紙芝居のような表現活動まで深めることも可能である。	1	Review	<p>○本文の内容を理解できる。(A)</p> <p>○本文の内容についての質問を理解し、適切に応答できる。(B)</p> <p>○自分の願い事を英語で書くことができる。(C)</p>	<p>三人称単数現在形(否定文)</p> <p>中心技能 読む, 書く, 話す</p> <p>話題, テーマ 3つの願い事</p>	<p>A 本文の内容確認 [理解]</p> <p>B 本文の内容確認 [理解]</p> <p>C 自分の願い事を書く [表現]</p> <p>●特にCへの取り組み [意欲]</p>			
							<p>have to, do not have to</p> <p>中心技能 4技能すべて</p> <p>使用場面 ガイドブック</p> <p>話題, テーマ ホームステイ</p> <p>働き 助言・忠告する</p>	<p>①本文(ガイドブック)の内容理解 [理解]</p> <p>②基本文 [理解・表現]</p> <p>③本文の音読 [表現]</p> <p>④Listen [理解]</p> <p>⑤Speak [表現]</p>	<p>言語 have to の発音に注意し, 正しく発音できるよう練習させる。</p>		
							<p>will</p> <p>中心技能 4技能すべて</p> <p>使用場面 ホストマザーとの対話</p> <p>話題, テーマ ベッド・メイキング</p> <p>働き 質問する, 助言する聞き返す</p>	<p>①本文(対話)の内容理解 [理解]</p> <p>②基本文 [理解・表現]</p> <p>③本文の音読・ロールプレイ [表現]</p> <p>④Your Turn [表現]</p> <p>●特に④への取り組み [意欲]</p>			
	Unit 4	pp. 40-44	<p>Homestay in the United States</p> <p>題材・内容 さくらが夏休みにアメリカにホームステイに行ったときのエピソード。ホームステイの心得(S0), ベッドメイキングについてのさくらとホストマザーとの対話(D), ホームステイでの悩みごと相談と先生の助言(RC)から成る。</p> <p>設定理由 海外への観光旅行とホームステイ体験とでは人間関係の密度が大きく異なる。家族の一員となって生活するためにどのようなことに注意しなくてはならないか。意思疎通の手段として英語が大切であることは言うまでもないが, 相互のコミュニケーションが大切ということで, ホームステイ先の家庭内のルールに従うという基本原則, ホームステイ期間中に起こりがちなトラブルとその解決方法の糸口を知ることを通じ「コミュニケーション」の大切さ, すばらしさ, むずかしさなどについて考えさせたい。</p>	5	1	Dialog	<p>○will を用いた文の形・意味・用法を理解し, それを用いて簡単な対話ができる。</p>	<p>will</p> <p>中心技能 4技能すべて</p> <p>使用場面 ホストマザーとの対話</p> <p>話題, テーマ ベッド・メイキング</p> <p>働き 質問する, 助言する聞き返す</p>	<p>①本文(対話)の内容理解 [理解]</p> <p>②基本文 [理解・表現]</p> <p>③本文の音読・ロールプレイ [表現]</p> <p>④Your Turn [表現]</p> <p>●特に④への取り組み [意欲]</p>		
								<p>must</p> <p>復習 have to, will</p> <p>中心技能 4技能すべて</p> <p>使用場面 ノートでのやりとり</p> <p>話題, テーマ ホームステイの困り事</p> <p>働き 相談する, 報告する助言する</p>	<p>①本文(相談, 助言, 結果報告)の内容理解(Q&A) [理解]</p> <p>意思伝達の重要性の理解 [言語文化]</p> <p>②基本文 [理解・表現]</p> <p>③本文の音読 [表現]</p>		
					1	Reading for Communication	<p>○ホストファミリーの一員であることとはどういうことかを知る。</p> <p>○苦情とそれに対する助言及び結果報告を読んで内容を理解できる。</p> <p>○must not を用いた文の形・意味・用法を理解し, 表現できる。</p>	<p>must not</p> <p>中心技能 4技能すべて</p> <p>使用場面 ノートでのやりとり</p> <p>話題, テーマ ホームステイの困り事</p> <p>働き 相談する, 報告する助言する</p>	<p>①本文(相談, 助言, 結果報告)の内容理解(Q&A) [理解]</p> <p>ホストファミリーの役割についての理解 [言語文化]</p> <p>②基本文 [理解・表現]</p> <p>③本文の音読 [表現]</p>	<p>言語 mustn't の発音に注意し, 正しく発音できるよう練習させる。</p>	

月	単元	ページ	タイトル／題材・内容	時数		パート名	到達目標	学習内容	文法事項・基本表現	指導の典型的手順[観点評価分類]	指導に関する備考
				単元	パート			主な言語活動			
9	Unit 4	pp. 40-44			1	Review	<p>○標識の意味に合わせた文を完成することができる。(A)</p> <p>○アメリカの生活習慣と対比させながら日本の生活習慣で注意すべきことを英語でメモし、発表することができる。(B)</p>	<p>① 中心技能 読む, 書く</p> <p>使用場面 標識の説明文 話題, テーマ 標識 働き 説明する</p> <p>② 中心技能 読む, 書く, 話す</p> <p>使用場面 注意書きメモ 話題, テーマ 日米生活習慣比較 働き 説明する</p>	<p>① 適語補充 [言語文化]</p> <p>② 完成した文の音読 [表現]</p> <p>③ メモの作成 [理解・表現]</p> <p>④ 完成したメモの発表 [表現]</p> <p>⑤ 特に④への取り組み [意欲]</p>		
	Listening Plus 4	p. 45	<p>明日の天気</p> <p>題材・内容 天気予報や天気を話題にした短い対話を聞き取る。</p>	1		<p>○天気予報や天気を話題とした対話を聞き、その内容を聞き取ることができる。</p>	<p>復習 will, must</p> <p>中心技能 聞く, 書く</p> <p>使用場面 天気予報, 対話 話題, テーマ 天気 働き 情報を伝達する 工夫 多くの情報から必要な情報だけを選択して聞き取る</p>	<p>① 天気予報の聞き取り (Step 1) [理解]</p> <p>② 対話の聞き取り (Step 2) [理解]</p> <p>③ 天気予報の内容に関する質問への応答 (Step 3) [理解・表現]</p> <p>④ Sound Box による発音練習 [言語文化・表現]</p> <p>⑤ 特に③への取り組み [意欲]</p>			
	Speaking Plus 2	pp. 46-47	<p>電話での応答</p> <p>題材・内容 「電話での応答」の第2弾(第1弾はBook 1 SP 1, 第3弾はBook 3 SP 4)。電話で、最初に話したい相手以外の人が出た場合の会話を扱い、特に「取り次ぎをたのむ」表現を学ぶ。</p>	2		<p>○電話での応答で、「…さんをお願いします」と取り次ぎをたのむことができる。</p>	<p>May I speak to ..., please?</p> <p>復習 have to</p> <p>中心技能 話す, 聞く, 書く</p> <p>使用場面 電話で 働き 丁寧に依頼する 相手をさそう</p>	<p>① 場面の理解とモデル対話の確認 [理解]</p> <p>② 基本表現 (Step 1) [理解・表現]</p> <p>③ モデル対話の音読・ロールプレイ (Step 2) [表現]</p> <p>④ モデル対話の暗唱 (Step 2) [表現]</p> <p>⑤ モデル対話の応用 (Step 3) [表現]</p> <p>⑥ 基本表現などの確認 (書き取り) [理解・言語文化]</p> <p>⑦ 特に⑤への取り組み [意欲]</p>	<p>言語 Why don't you ...? の意味, 用法について理解し, 適切に表現できるようにする。</p>		
10	まとめ練習②	p. 48	<p>助動詞</p> <p>題材・内容 助動詞を使った文の意味と語順について総復習する。</p>	1		<p>○can, will, must などの否定文と疑問文について復習し, 理解を確かめる。</p> <p>○will や must に似た意味を表す表現について復習し, 理解を確かめる。</p> <p>○助動詞を使った役に立つ表現について復習し, 理解を確かめる。</p>	<p>復習 助動詞</p> <p>中心技能 書く</p>	<p>① 「確かめよう」による確認 [言語文化]</p> <p>② 「やってみよう」による練習 [言語文化]</p>	<p>補充 「やってみよう」と類似した問題を作成して取り組ませる。生徒の負担を少なくするため, 教科書の本文を参考に問題を作成するとよい。</p>		

月	単元	ページ	タイトル／題材・内容	時数		パート名	到達目標	学習内容	文法事項・基本表現	指導の典型的手順[観点評価分類]	指導に関する備考
				単元	パート				主な言語活動		
10	学び方コーナー2	p. 49	文の読み方 題材・内容 語句のかたまりをとらえて文を読む。	1			○文を意味のまとまりによって区切りながら読むことができる。	中心技能 読む	① 語句のかたまりの理解 [理解] ② 練習問題による確認 [表現]	補充 既習の RC または LR 1 の本文にスラッシュを入れさせる。答え合わせはスラッシュのところで CD を止めるか教師の範読による。	
		pp. 50-54 Unit 5	A New Language Service 題材・内容 緑市の新しい言語サービスの話題。言語ボランティアの募集記事 (S0) , ボランティアに応募した一郎の母とベッキーの対話 (D) , 外国人住民のための市の新しいサービスを紹介する新聞記事と新聞の投書欄 (RC) から成る。 設定理由 観光客としてではなく住民として日本に暮らす外国の人たちが直面する様々な問題について、中学生なりに考える契機としたい。中でも言葉を通してのコミュニケーションが大きな問題であることは想像が付きやすい。本単元で紹介されている取り組みは事実に基づいていることを伝えることで、生徒はこの問題についてさらに興味・関心を持つことだろう。	1	Starting Out	○If 節を用いた文の形・意味・用法を理解し、表現できる。	if 節 中心技能 4 技能すべて 使用場面 広報誌の記事 話題, テーマ ボランティア 働き 情報を伝える	① 本文 (記事) の内容理解 [理解] ② 基本文 [理解・表現] ③ 本文の音読 [表現] 本文の暗唱 [表現] ④ Listen [理解] ⑤ Speak [表現]			
				1	Dialog	○that 節 (目的) を用いた文の形・意味・用法を理解し、それを用いて簡単な対話ができる。	that 節 (目的) 中心技能 4 技能すべて 使用場面 対話 話題, テーマ ボランティア 働き 意見を言う 同意する	① 本文 (対話) の内容理解 [理解] ② 基本文 [理解・表現] ③ 本文の音読・ロールプレイ [表現] 本文の暗唱 [表現] ④ Your Turn [表現] ● 特に ④ への取り組み [意欲]			
				1	Reading for Communication	○新聞記事を読んで内容を理解することができる。 ○when 節を用いた文の形・意味・用法を理解し、表現できる。	when 節 中心技能 4 技能すべて 使用場面 新聞記事 話題, テーマ 言語 働き 情報を伝える 説明する	① 本文 (記事) の内容理解 (Q&A) [理解] ② 基本文 [理解・表現] ③ 本文の音読 [表現] ● 特に ③ への取り組み [意欲]	深化 やさしい英語で書かれた英字新聞の記事や投書欄を読ませ、その内容を要約させる。グループごとに記事を割り当てて紹介させてもよい。		
1	Reading for Communication	○投書の意見を読んで内容を理解することができる。 ○because 節を用いた文の形・意味・用法を理解し、表現できる。		because 節 復習 if 節, that 節 (目的) 中心技能 4 技能すべて 使用場面 新聞の投書欄 話題, テーマ 言語 働き 意見を言う	① 本文 (投書) の内容理解 (Q&A) [理解] ② 基本文 [理解・表現] ③ 本文の音読 [表現] ● 特に ③ への取り組み [意欲]						

月	単元	ページ	タイトル／題材・内容	時数		パート名	到達目標	学習内容	文法事項・基本表現	指導の典型的手順[観点評価分類]	指導に関する備考
				単元	パート			主な言語活動			
10	Unit 5	pp. 50-54			1	Review	<p>○主節と従属節を正しく組み合わせることができる。(A)</p> <p>○5W1Hの順になるように、与えられたメモの語句や文を整理し、記事を完成することができる。また、記事について自分の意見を簡単にまとめ、書くことができる。(B)</p>	<p>① 中心技能 読む</p> <p>② 中心技能 読む、書く、話す</p> <p>使用場面 説明文、新聞記事 話題、テーマ ボランティア 働き 紹介する、説明する 意見を述べる</p>	<p>① ①組になるものを選んで文を完成 [理解]</p> <p>② 完成した文の音読 [表現]</p> <p>③ ① 語句や文の並べかえ [理解・表現]</p> <p>④ ② コメントを書く [表現]</p> <p>⑤ ③ 完成した記事の発表 [表現]</p> <p>●特に②③への取り組み [意欲]</p>		
	Listening Plus 5	p. 55	今日のニュース 題材・内容 ニュースを聞き取る。Step 1はUnit 5 p. 53 OPINIONSの内容を受けてのものである。		1		<p>○ニュースの概要・要点を聞き取ることができる。</p>	<p>復習 if節, that節(目的), because節</p> <p>中心技能 聞く、書く</p> <p>使用場面 ローカルニュース 働き 情報を伝達する</p>	<p>① ニュースの概要の聞き取り (Step 1) [理解]</p> <p>② ニュースの要点の聞き取り (Step 2) [理解]</p> <p>③ ニュースの内容に関する質問への応答 (Step 3) [理解・表現]</p> <p>④ Sound Boxによる聞き取り [理解]</p> <p>●特に③への取り組み [意欲]</p>		
	Speaking Plus 3	pp. 56-57	道案内 題材・内容 目的地への乗り物での行き方をたずねたり、教えたりする言い方を学ぶ。「道案内」の第2弾(第1弾はBook 1 SP 2, 第3弾はBook 3 SP 3)。		2		<p>○目的地への乗り物(バスまたは電車)での行き方をたずねたり、教えたりすることができる。</p> <p>○聞き返して確認する、つなぎことばを用いるなどの工夫をして、対話を続けることができる。</p>	<p>Which bus ...? - Take ...</p> <p>復習 that節(目的)</p> <p>中心技能 話す、聞く、書く</p> <p>使用場面 駅前での道案内 話題、テーマ 乗り物での行き方 働き 質問する、聞き返す 説明する</p>	<p>① 場面の理解とモデル対話の確認 [理解]</p> <p>② 基本表現 (Step 1) [理解・表現]</p> <p>③ モデル対話の音読・ロールプレイ (Step 2) [表現]</p> <p>④ モデル対話の暗唱 (Step 2) [表現]</p> <p>⑤ モデル対話の応用 (Step 3) [表現]</p> <p>⑥ 基本表現などの確認(書き取り) [理解・言語文化]</p> <p>●特に⑤への取り組み [意欲]</p>	*Step 3は応用編 p.112 Bonus Word Box ①「場所・名所」を利用し、行先をかえて対話させてもよい。	
11	Unit 6	pp. 58-62	The Story of an Old Clock 題材・内容 名曲「大きな古時計」の誕生秘話。曲のモデルとなった古時計が置いてあるホテルのホームページ(SO)、書店でのブラウン先生と店員との対話(D)、「大きな古時計」誕生の物語(RC)と続く。	5	1	Starting Out	<p>○There is [are] ... 構文(肯定文)の形・意味・用法を理解し、表現できる。</p>	<p>There is [are] ...</p> <p>中心技能 4技能すべて</p> <p>使用場面 ホテルのホームページ 話題、テーマ 「大きな古時計」 働き 情報を伝える 説明する、描写する</p>	<p>① 本文(ホームページ)の内容理解 [理解]</p> <p>② 基本文 [理解・表現]</p> <p>③ 本文の音読 [表現]</p> <p>本文の暗唱 [表現]</p> <p>④ Listen [理解]</p> <p>⑤ Speak [表現]</p>		
					1	Dialog	<p>○There is [are] ... 構文(疑問文と応答)の形・意味・用法を理解し、それをを用いて簡単な対話ができる。</p>	<p>Is [Are] there ...? と応答</p> <p>中心技能 4技能すべて</p> <p>使用場面 書店での対話 話題、テーマ 「大きな古時計」 働き 申し出る、質問する 答える、説明する</p>	<p>① 本文(対話)の内容理解 [理解]</p> <p>② 基本文 [理解・表現]</p> <p>③ 本文の音読・ロールプレイ [表現]</p> <p>本文の暗唱 [表現]</p> <p>④ Your Turn [表現]</p> <p>●特に④への取り組み [意欲]</p>		

月	単元	ページ	タイトル／題材・内容	時数		パート名	到達目標	学習内容	文法事項・基本表現	指導の典型的手順[観点評価分類]	指導に関する備考
				単元	パート			主な言語活動			
11	Unit 6	pp. 58-62	設定理由 日本語で歌われる「大きな古時計」の歌詞・曲は知っていても、原曲が外国のものであること、本単元で紹介されているような実話に基づき作詞・作曲されたことを知っている生徒はほとんどいないと思われる。そうした背景を知ること、この曲に対してこれまで以上の親近感を持つことであろう。	1	Reading for Communication	<ul style="list-style-type: none"> ○「大きな古時計」の誕生の経緯を知る。 ○物語を読んで、登場人物の心情などを読み取ることができる。 ○動名詞を目的語とする文の形・意味・用法を理解し、表現できる。 	動名詞（目的） 復習 There is [are]	4 技能すべて 物語 話題, テーマ 「大きな古時計」 働き 説明する	①本文（物語）の内容理解 (Q&A) [理解] ②基本文 [理解・表現] ③本文の音読 [表現]	*「大きな古時計」に関する資料を紹介するとよい。	
						<ul style="list-style-type: none"> ○「大きな古時計」の誕生の経緯を知る。 ○物語を読んで、場面の変化や登場人物の心情などを読み取り、それが表れるように朗読することができる。 ○動名詞を主語とする文の形・意味・用法を理解し、表現できる。 	動名詞（主語）	4 技能すべて 物語 話題, テーマ 「大きな古時計」 働き 説明する	①本文（物語）の内容理解 (Q&A) [理解] ②基本文 [理解・表現] ③本文の音読 [意欲]		
						<ul style="list-style-type: none"> ○対話文の中で動名詞と不定詞のいずれを用いるか文の動詞を見て正しく判断できる。(A) ○There is [are] ... 構文の be 動詞の選択を主語に応じて正しくできる。(A) ○RCの本文をワークの立場から書き直した文章の空所に適切な語を入れて完成することができる。(B) ○ワークの気持ちを代弁して書くことができる。(B) 	A 中心技能 読む, 話す 使用場面 対話文 話題, テーマ 観光, ケンブリッジ 働き 感想を述べる 質問する 提案する, 賛成する B 中心技能 読む, 書く, 話す 使用場面 要約文 話題, テーマ 「大きな古時計」 働き 要約する	A ①適語選択 [言語文化] ②ロールプレイ [表現] B ①適語補充 [理解・表現] ②④の英作文 [表現] ③完成した文の発表 [表現] ●特に②③への取り組み [意欲]	*教科書 p.73, 英語の歌 <i>Grandfather's Clock</i> の歌詞を紹介し、歌を聞かせたい。		
	Listening Plus 6	p. 63	昼休みの校内放送 題材・内容 校内放送で、学校のイベントについてのお知らせを聞き取る。	1		<ul style="list-style-type: none"> ○校内放送で、今後予定されているイベントや試合について提供される情報を聞き取ることができる。 	復習 There is [are], 動名詞 中心技能 聞く, 書く 使用場面 校内放送 話題, テーマ コンサート, 試合 働き 情報を伝える 工夫 多くの情報から必要な情報だけに集中して聞き取る	①校内放送の聞き取り (Step 1) [理解] ②校内放送の続きの聞き取り (Step 2) [理解] ③校内放送の内容に関する質問への応答 (Step 3) [理解・表現] ④Sound Box による発音練習 [言語文化] ●特に③への取り組み [意欲]			

月	単元	ページ	タイトル／題材・内容	時数		パート名	到達目標	学習内容	文法事項・基本表現	指導の典型的手順[観点評価分類]	指導に関する備考
				単元	パート			主な言語活動			
11	Multi Plus 2	pp. 64-67	<p>町紹介</p> <p>題材・内容 自分が住んでいる町を紹介するという4技能統合の自己表現活動。Challenge では中国の町を紹介する英語を読み、世界の住まいや町並みに視野を広げる。</p>	4		<p>○モデル文を参考にして、自分の町の紹介文の原稿を4文以上の英語で書くことができる。</p> <p>○書いた原稿をもとに、町紹介のスピーチをすることができる。</p> <p>○友達のスーピーチを聞き、その内容について質問することができる。</p> <p>○中国の福建省の土楼と呼ばれる独特の住居とそこに住む家族の生活について読み、理解することができる。</p> <p>○外国の住まいや町並みについて調べて、発表することができる。</p>	<p>復習 Unit 4～6 の総復習</p>	<p>中心技能 4 技能すべて</p> <p>話題、テーマ 自分が住んでいる町を紹介する、描写する、発表する、質問する・答える</p> <p>働き</p>	<p>①活動目標の理解（目標） [理解]</p> <p>②既習事項の復習（復習） [理解]</p> <p>③モデルの内容理解（Hop） [理解]</p> <p>④表の完成（Step の 1） [表現]</p> <p>⑤町紹介を書く（Step の 2） [表現]</p> <p>⑥町紹介の発表と質疑応答（Jump） [理解・表現]</p> <p>⑦本文の内容理解（Challenge） [理解]</p> <p>⑧外国の住まいや街並みについて調べて発表する（Challenge） [理解・表現]</p> <p>●特に⑥⑧への取り組み [意欲]</p>	<p>補充 Step の原稿作成に 1 指導時間をあて、全体を 5 指導時間とし、「書くこと」の指導の重点化を図ることも可能である。</p> <p>継続 Jump は、毎時間冒頭に数人ずつ発表させる、という方法でもよい。</p> <p>継続 Challenge の Let's Try 2 については、課題として扱い、書くことや話すこと（スピーチ）の活動を継続的に行うことも可能である。</p> <p>言語 in the west of など、地理的な位置関係を表す表現をまとめて練習する。特に自分の住む町について Tool Box の表現を活用して指導し、定着させる。</p>	
12	Let's Read 2	pp. 68-72	<p>Try to Be the Only One</p> <p>題材・内容 沖縄出身の盲目のテノール歌手新垣勉さんの物語。人生の出发点で蒙った不幸にうちひしがれながらも、心に響く賛美歌やよき理解者との出会い、天与の声への覚醒などを通して、「オンリーワン（かけがえのない自分、自分にしかでき得ない生き方）」の価値に目覚めていく。</p> <p>設定理由 新垣勉さんの生い立ちから今日に至るまでの人生における孤独、絶望と希望、人生の転機と支える人々との交流、戦争と平和の問題など豊かな内容を含む本教材は生徒に強い感銘を与えるはずである。</p>	4	<p>○新垣勉さんの人生の軌跡と彼のモットーから、彼がその言葉にこめた本当の意味を読み取り、それについて考える。</p> <p>○新垣勉さんの人生をたどりながら、さまざまな出会いを通して、彼の生き方・考え方がどのように変化していったかを読み取ることができる。</p>	<p>復習 既習事項の総復習</p>	<p>中心技能 読む</p> <p>話題、テーマ 伝記 新垣勉</p> <p>働き</p>	<p>①本文（伝記）のあらすじの理解 [理解]</p> <p>②各ページの本文の内容理解 [理解]</p> <p>③本文の音読 [表現]</p> <p>④本文の暗唱 [表現]</p> <p>●特に④への取り組み [意欲]</p>	<p>深化 本文の内容を十分理解したうえでの気持ちをこめた音読・暗唱や Review ㉔の活動に 1 時間を充たし、表現活動の深化を図ってもよい。</p> <p>*物語全体の通読（1 時間目）と各ページの精読（2 時間目以降）、Review を活用した 2 ページごとの通読、各ページの精読のみの 4 時間扱いなど、生徒の実態によって指導計画を柔軟に考えたい。</p>		
			5	Review	<p>○本文前半の内容を理解し、要約文に適切な語を入れることができる。(A)</p> <p>○本文後半の内容を理解し、質問に適切に回答できる。(B)</p> <p>○自分のモットーを英語で書くことができる。(C)</p>	<p>can の文（疑問文と応答）</p>	<p>中心技能 読む、書く、話す</p> <p>話題、テーマ 伝記の要約 新垣勉</p> <p>働き</p>	<p>A 本文前半の内容確認 [理解]</p> <p>B 本文後半の内容確認 [理解]</p> <p>C 自分のモットーを書く [表現]</p> <p>●特にCへの取り組み [意欲]</p>			

月	単元	ページ	タイトル／題材・内容	時数		ページ名	到達目標	学習内容	文法事項・基本表現	指導の典型的手順[観点評価分類]	指導に関する備考
				単元	パート				主な言語活動		
1	Unit 7	pp. 74-78	My Favorite Movie 題材・内容 アニメと映画についての話題。日本の代表的アニメ作品の製作年の比較 (S0), ベッキーと一郎による好きな映画についての対話 (D), 「E.T.」のあらすじ紹介 (RC), と展開する。 設定理由 映画鑑賞を趣味の一つにあげる中学生も多く, 身近な話題である。製作年の比較, ジャンルによる面白さの比較など自然な文脈の中で比較表現を導入することができる。「E.T.」は古典的名作として映画史上に残る作品であろう。	5	1	Starting Out	○比較表現 (-er, the -est) の形・意味・用法を理解し, 適切に表現できる。	比較表現 (-er, the -est) 中心技能 4 技能すべて 使用場面 年表の解説 話題, テーマ 日本のアニメ 働き 情報を伝える, 発表する	①本文 (説明) の内容理解 [理解] ②基本文 [理解・表現] ③本文の音読 本文の暗唱 [表現] ④Listen [理解] ⑤Speak [表現]		
				1	Dialog	○比較表現 (more, the most) の形・意味・用法を理解し, それを用いて簡単な対話ができる。	比較表現 (more, the most) 中心技能 4 技能すべて 使用場面 対話 話題, テーマ 好きな映画 働き 質問する, 答える 意見を言う	①本文 (対話) の内容理解 [理解] ②基本文 [理解・表現] ③本文の音読・ロールプレイ 本文の暗唱 [表現] ④Your Turn [表現] ●特に④への取り組み [意欲]			
				1	Reading for Communication	○映画「E.T.」について知る。 ○映画のあらすじを読んでストーリーを理解できる。 ○better, the best を用いた文の形・意味・用法を理解し, 表現できる。	比較表現 (better, the best) 中心技能 4 技能すべて 使用場面 映画のあらすじ 話題, テーマ 「E.T.」 働き 説明する	①本文 (映画紹介) の内容理解 (Q&A) [理解] ②基本文 [理解・表現] ③本文の音読 [表現]			
				1	Reading for Communication	○映画「E.T.」のメッセージを理解できる。 ○映画のあらすじを読んでストーリーを理解できる。 ○as... as ~を用いた文の形・意味・用法を理解し, 表現できる。	比較表現 (as... as ~) 中心技能 4 技能すべて 使用場面 映画のあらすじ 話題, テーマ 「E.T.」 働き 説明する	①本文 (映画紹介) の内容理解 (Q&A) [理解] ②基本文 [理解・表現] ③本文の音読 [表現] ●特に③への取り組み [意欲]			
				1	Review	○対話文の中で適切な比較表現 (-er, the -est) を用いることができる。(A) ○「E.T.」の要約文の空所に適切な語を入れて完成することができる。(B)	① 中心技能 読む, 書く, 話す 使用場面 対話 話題, テーマ 辞典 働き 意見・理由を述べる ② 中心技能 読む, 書く, 話す 使用場面 要約 話題, テーマ 「E.T.」 働き 要約する	① ①適語補充 [理解] ②ロールプレイ [表現] ② ①適語補充 [意欲] ②①のせりふを書く [表現] ③完成した要約文の発表 [表現] ●特に②③への取り組み [意欲]			

月	単元	ページ	タイトル／題材・内容	時数		パート名	到達目標	学習内容	文法事項・基本表現	指導の典型的手順[観点評価分類]	指導に関する備考
				単元	パート				主な言語活動		
1	Listening Plus 7	p. 79	映画ヒットチャート 題材・内容 「今週の映画ヒットチャート」を聞く。	1			○「今週の映画ヒットチャート」を聞いて、具体的な内容や大切な部分を聞き取ることができる。	復習 比較表現 中心技能 聞く、書く 使用場面 映画ヒットチャート 話題、テーマ 映画 働き 紹介する 工夫 多くの情報から必要な情報だけに集中して聞き取り、メモを取る	① ヒットチャートの順位の聞き取り (Step 1) [理解] ② 映画のジャンルの聞き取り (Step 2) [理解] ③ ヒットチャートの内容に関する質問への応答 (Step 3) [理解・表現] ④ Sound Box による発音練習 [言語文化] ● 特に ③ への取り組み [意欲]		
			買い物 題材・内容 買い物の場面での会話を扱う。客と店員間でよく用いられる表現と「申し出る」表現を学ぶ。	2		○買い物の場面での英語を理解し、英語で買い物をすることができる。 ○「…しましょうか」と申し出ることができる。	Shall I ... ? 復習 比較表現 中心技能 話す、聞く、書く 使用場面 洋服屋 話題、テーマ 買い物 働き 情報を伝える 申し出る 質問する、答える	① 場面の理解とモデル対話の確認 [理解] ② 基本表現 (Step 1) [理解・表現] ③ モデル対話の音読・ロールプレイ (Step 2) [表現] ④ モデル対話の暗唱 (Step 2) [表現] ⑤ モデル対話の応用 (Step 3) [表現] ⑥ 基本表現などの確認 (書き取り) [理解・言語文化] ● 特に ③④ への取り組み [意欲]	*Step 3 は応用編 p.113 Bonus Word Box ②を活用して、自分の欲しい物で対話させてもよい。		
			詩 題材・内容 5行詩のルールを知り、そのルールに則って詩を書く自己表現活動。	2		○5行詩のルールに則って、詩を書くことができる。	復習 一般動詞の過去形 中心技能 書く、読む 使用場面 5行詩、英語俳句 話題、テーマ 自己表現 働き 気持ちを伝える	① 定型詩のルールとモデルの内容理解 (Step 1) [理解] ② モデルにならって書く (Step 2) [表現] ③ 自分の詩を書く (Step 3) [表現] ● 特に ③ への取り組み [意欲]	深化 生徒の実態によっては、Tool Box の英語俳句まで挑戦させてもよい。 *Step 1～2、可能なら Step 3 の書き出しまでを1時間目で扱い、書いた内容の確認や推敲などを2時間目に扱うようにするとよい。		
			比較表現 題材・内容 比較表現を総復習する。	1		○比較級について復習し、理解を確かめる。 ○最上級について復習し、理解を確かめる。 ○as ... as～について復習し、理解を確かめる。	復習 比較表現 中心技能 書く	① 「確かめよう」による確認 [言語文化] ② 「やってみよう」による練習 [言語文化]	補充 「やってみよう」と類似した問題を作成して取り組ませる。生徒の負担を少なくするため、教科書の本文を参考に問題を作成するとよい。		
			賛成・反対のしかた 題材・内容 相手の意見に賛成したり、反対したりする表現を学ぶ。	1		○賛成・反対や自分の意見を述べる表現を理解し、適切に表現できる。	I agree / I disagree など 復習 比較表現 中心技能 聞く、話す	① 賛成・反対の表現の理解 [理解] ② 賛成・反対の表現を使って対話 [理解・表現] ● 特に ② への取り組み [意欲]	深化 短い命題を聞かせ、それに対して「賛成」「反対」と思う「理由」を1文以上言わせる。		

月	単元	ページ	タイトル／題材・内容	時数		パート名	到達目標	学習内容	文法事項・基本表現	指導の典型的手順[観点評価分類]	指導に関する備考
				単元	パート				主な言語活動		
2	Multi Plus 3	pp. 86-89	<p>好きなこと・もの</p> <p>題材・内容 自分が好きなこと・ものを紹介する 4 技能統合の自己表現活動。Challenge では韓国で人気がある J-pop について紹介する文を読み、海外で活躍している日本人に視野を広げる。</p>	4			<p>○モデル文を参考にして、自分の好きなこと・ものについて紹介する原稿を 4 文以上の英語で書くことができる。</p> <p>○書いた原稿をもとに、自分の好きなこと・ものについてのスピーチをすることができる。</p> <p>○友達のスピーチを聞き、その内容について質問することができる。</p> <p>○日本と韓国のスターやポピュラー音楽について説明した文章を読み、内容を理解できる。</p> <p>○海外で活躍する日本人について調べて、発表することができる。</p>	<p>復習 Unit 7 の総復習</p> <p>中心技能 4 技能すべて</p> <p>使用場面 説明文</p> <p>話題, テーマ 自分の好きなこと・もの、日韓の若者文化</p> <p>働き 紹介する, 発表する, 説明する, 描写する, 質問する, 答える</p>	<p>①活動目標の理解(目標) [理解]</p> <p>②既習事項の復習(復習) [理解]</p> <p>③モデルの内容理解(Hop) [理解]</p> <p>④話題を選ぶ(Stepの1) [意欲]</p> <p>⑤好きなこと・ものの紹介を書く(Stepの2) [表現]</p> <p>⑥発表と質疑応答(Jump) [理解・表現]</p> <p>⑦本文の内容理解(Challenge) [理解]</p> <p>⑧海外で活躍する日本人について調べて発表する(Challenge) [理解・表現]</p> <p>●特に⑥⑧への取り組み [意欲]</p>	<p>補充 Step の原稿作成に 1 指導時間をあて、全体を 5 指導時間とし、「書くこと」の指導の重点化を図ることも可能である。</p> <p>継続 Jump は、毎時間冒頭に数人ずつ発表させる、という方法でもよい。</p> <p>継続 Challenge の Let's Try 2 については、課題として扱い、書くことや話すこと(スピーチ)の活動を継続的に行うことも可能である。</p> <p>言語 How often ...? に対する答えの文もあわせて指導し、定着させる。</p>	
3	Let's Read 3	pp. 90-94	<p>Can Anyone Hear Me?</p> <p>題材・内容 突如地面にあいた底なしの穴を、人間たちはごみ捨て場として利用しはじめるが…。星新一『おーい でてこーい』の翻案。原作は、『ボッコちゃん』(新潮文庫 昭和46年初版)に収録されている。</p> <p>設定理由 物語として抜群におもしろく、その結末は一度読んだらちょっと忘れられない。高度経済成長期の作品ながら、今日の「ごみ問題」を予見したかのような感があり、テーマ性をあわせ持っている。</p>	5		<p>○物語を構成する起承転結を考え、先を読み取るような読解ができる。</p> <p>○物語の登場人物の言動を正しく理解することができる。</p>	<p>復習 既習事項の総復習</p> <p>中心技能 読む</p> <p>使用場面 物語</p> <p>話題, テーマ 環境(ゴミ)問題</p>	<p>①本文(物語)のあらすじの理解 [理解]</p> <p>②各ページの本文の内容理解 [理解]</p> <p>③本文の音読 [表現]</p> <p>④本文の暗唱 [表現]</p> <p>●特に④への取り組み [意欲]</p>	<p>*物語全体の通読(1時間目)と各ページの精読(2時間目以降)、Reviewを活用した2ページごとの通読、各ページの精読のみの4時間扱いなど、生徒の実態によって指導計画を柔軟に考えたい。</p> <p>深化 本文の内容を十分理解したうえでの気持ちをこめた音読・暗唱や Review ③の活動に1時間を充当し、表現活動の深化を図ってもよい。</p>		
				1	Review	<p>○本文前半の内容を理解し、文を正しい順に並べかえることができる。(A)</p> <p>○本文後半の内容を理解し、質問に適切に回答できる。(B)</p> <p>○物語の続きを考えて英語で書くことができる。(C)</p>	<p>中心技能 読む, 書く, 話す</p> <p>使用場面 物語</p> <p>話題, テーマ 環境(ゴミ)問題</p>	<p>①本文の内容確認 [理解]</p> <p>②本文の内容確認 [理解]</p> <p>③物語の続きを書く [表現]</p> <p>●特に③への取り組み [意欲]</p>			
			計 91								